

POWERED BY **Dialog**

PRODUCTION OF DISPLAY DEVICE (56-017385
Publication Number: JP 56017385 A) , February 19, 1981

Inventors:

- SADAMASA TETSUO
- ICHIKAWA OSAMU

Applicants

- TOSHIBA CORP (A Japanese Company or Corporation), JP (Japan)

Application Number: 54-091683 (JP 7991683) , July 20, 1979

International Class (IPC Edition 3):

- G09F-009/33
- H01L-033/00

JAPIO Class:

- 44.9 (COMMUNICATION--- Other)
- 42.2 (ELECTRONICS--- Solid State Components)
- 45.3 (INFORMATION PROCESSING--- Input Output Units)

JAPIO Keywords:

- R116 (ELECTRONIC MATERIALS--- Light Emitting Diodes, LED)
- R124 (CHEMISTRY--- Epoxy Resins)

JAPIO

© 2003 Japan Patent Information Organization. All rights reserved.
Dialog® File Number 347 Accession Number 697085

⑬ 日本国特許庁 (JP)

① 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭56-17385

④ Int. Cl.⁸

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 昭和56年(1981) 2月19日

G 09 F 9/33

7013-5C

H 01 L 33/00

7739-5F

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 4 頁)

⑤ ディスプレイ装置の製造方法

⑦ 発明者 市川修

② 特 願 昭54-91683

川崎市幸区小向東芝町1 東京芝

② 出 願 昭54(1979) 7月20日

浦電気株式会社総合研究所内

⑦ 発明者 定政哲雄

⑦ 出 願 人 東京芝浦電気株式会社

川崎市幸区小向東芝町1 東京芝

川崎市幸区堀川町72番地

浦電気株式会社総合研究所内

⑦ 代 理 人 弁理士 則近憲佑 外1名

明 細 書

1. 発明の名称

ディスプレイ装置の製造方法

2. 特許請求の範囲

(1) 発光ダイオードウェーハを基板板に固着する工程と、成面層された発光ダイオードウェーハをダイシングして複数の発光ダイオードペレットに分離する工程と、該複数の分離された発光ダイオードペレットを貼附シートに転写する工程と、該貼附シートに転写した発光ダイオードペレットを膜状固定する絶縁基板のダイパッド上或いは前記発光ダイオードペレット上の少なくともいずれか一方に選択的に導電性ペーストを塗布する工程と、前記絶縁基板のダイパッド上に前記導電性ペーストを介して選択的に前記発光ダイオードペレットを固着する工程と、成工程後に前記貼附シートを剥脱する工程とを具備してなることを特徴とするディスプレイ装置の製造方法。

(2) 絶縁基板のダイパッド上に発光部材の異なる発光ダイオードペレットを間隔して固着すること

(1)

を特徴とする前記特許請求の範囲第1項記載のディスプレイ装置の製造方法。

3. 発明の詳細な説明

この発明は発光ダイオード(LED)を用いたディスプレイ装置の製造方法に関する。

ディスプレイ装置には、液晶、プラズマ、エレクトロルミネッセンス、LED等を用いたものがあり、電子計算機等から出た電気信号を可視光に変換して機械と人間の情報伝達をなすものである。特にLEDを用いたものは応答速度が速いことや、他方式に比べて明るいこと、又、多色表示が容易である等の利点があり、ディスプレイ装置として有望視されている。しかしLEDを用いたディスプレイ装置の製造作業には多大な労力が必要とされ製造方法の改善が望まれている。

LEDディスプレイの構造を簡単に説明すると、同一平面上に一発光単位となるドットを多数配列させて文字や絵がらをドットの点滅によって表示するものである。一発光単位となるドットは図1図に示すように例えば赤色LEDペレット(15R)と緑

(2)